

# 学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究 (専門的な知見を活用した高度な分析に関する調査研究) について

## ○本調査研究の概要

教育施策の検証や学習指導の改善を図る上で、全国学力・学習状況調査の結果の分析・活用が重要。このため、大学等の研究機関等の専門的な知見を活用した高度な分析を行い、成果報告書を公表している。

## ○令和7年度調査研究の内容

### 経年変化分析調査および保護者に対する調査の結果等を活用した専門的な分析

受託者：国立大学法人福岡教育大学

令和6年度全国学力・学習状況調査（以下「令和6年度調査」という。）の経年変化分析調査においては、小学校国語・算数、中学校国語・英語についてスコアの低下が見られた。このことについて、令和6年度調査の保護者に対する調査や、その他の既存の各種データを用いるとともに、必要に応じて追加的な調査を行い、児童生徒の状況、社会経済的背景（SES（Socio-Economic Status））を含む家庭の状況、学校の状況、新型コロナウイルス感染症による生活環境の変化等について分析し、要因を探る。その際、スコアの低下が見られなかった学校等における特徴的な取組事例を収集する。また、児童生徒の学力に影響を与えうる社会変化の影響を捉える手法についても検討する。

### 研究テーマ

- ①学力低下が、どこで、どの程度生じているかに関する実態把握
- ②学力低下の要因に関する多面的な検討
- ③学力低下に抗している学校の特徴に関する情報収集
- ④保護者に対する調査のモード効果の検証